

セカンドステップのご紹介

かわいクリニック 河合 泰典

～気持ちを学ぶ～

日頃の子育てご苦労様です。しかし子供の日々の成長を見れば疲れも吹き飛びますよね。

さて、もしお子さんが社会に出てからより成功する可能性が高くなるための研修を受けることが出来るとしたら参加してみたいと思いませんか？

親の願いは、もちろん勉強が出来るようになって欲しいということもありますが、究極的には子供が自立して立派に社会で生きていけることだと思います。

たしかに勉強が出来ることは大切ですが、社会に出て成功している人を調べると必ずしも勉強が出来ることが重要ではなく、人といかに円滑なコミュニケーションを取ることが出来るかということが重要であるとの報告があります。

ここにセカンドステップというプログラムがあります。

「セカンドステップ」プログラムは、米国ワシントン州にあるNPO法人Committee for Children (1979年設立)によって、「子どもが加害者にならないためのプログラム」として開発されました。

「キレない子どもを育てよう」を合言葉に、子どもが幼児期に集団の中で社会的スキルを身につけ、さまざま場面で自分の感情を言葉で表現し、対人関係や問題を解決する能力と怒りや衝動をコントロールできるようレッスンが計画されています。

つまりこのセカンドステップを学ぶことで、こどもが健全に発達する上で大切な社会的・情緒的スキルを取得することが出来るのです。これらのスキルが十分身に付いていないこどもは、学校で問題を起こしやすく、社会人になってからも職場で同様の可能性があります。この度磯辺小学校では、1年生を対象にこのセカンドステップを導入することとなりました。是非この機会に子供達にこのスキルを身につけていただければと思います。

レッスンは全22回で、下記のような三部構成になっています。随時経過報告を皆さんにお伝えしたいと考えています。

第1章 相互の理解

自分の気持ちを表現し、相手の気持ちに共感して、お互いに理解し合い、思いやりのある関係をつくること。

第2章 衝動コントロールと問題の解決

問題ある状況で、衝動的な行動を理解し、落ち着くことに意識を向け、思いついたことを行動に移すより問題を考えることに焦点を当てる。

第3章 怒りの扱い

怒りの感情を自覚し、自分でコントロールする力を養い、建設的に解決する関係をつくること。

レッスンを始めるにあたり、セカンドステップの授業を受けるためのルールをクラス毎に決めました。また色々な「気持ち」について学んでいくことを確認しました。「うれしい」「悲しい」など色々な気持ちに子供が興味を持てるようにご家庭でも促してください。

セカンドステップを効果的にするには、ご家庭での援助が大切な役割を果たします。こどもが学校で何を学んでいるか？新しいスキルを理解し練習するために家でどのように援助できるか？について手紙をお届けします。セカンドステップのレッスンをどうぞご自由にご覧になってください。セカンドステップに関するご質問やご意見があれば、ご遠慮なくお寄せ下さい。